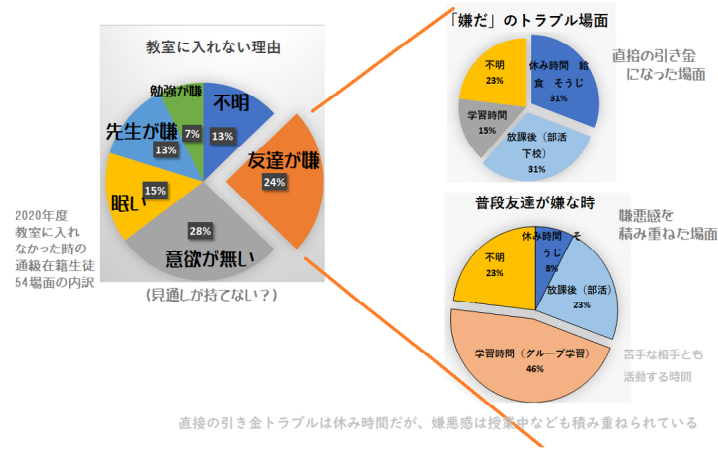
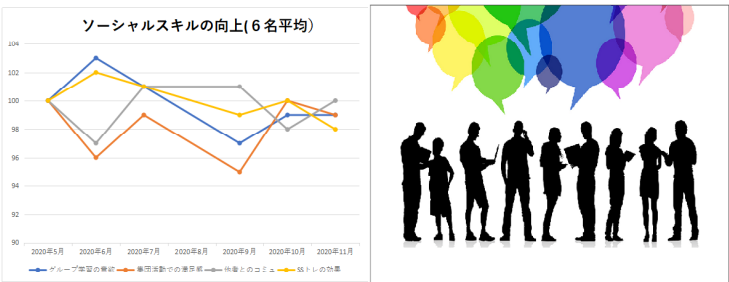


75 交流能力向上の困難さ

義高 互



ソーシャルスキル・コミュニケーションスキル向上の難しさ



個別学習などで向上 を実証 できた事例が少ない

自閉的な要素のある子どもは
変更が多い授業以外の活動では
見通しが持てず、友達ともうまくいかない



SSトレーニング通りできない

単純なパターンに当てはまらない
わかっているけど、できない

例：謝るべきだが謝りたくない



個別指導、スキルトレーニングでは難しい

人間性を備えた、表情ある
サポーター・ソフト

(財) 障害児教育財団理事長奨励賞

教育コンテンツ 「あとむくん」

昨年度、「教育お絵かきソフト うこけらくがき」で同コンクールに入賞した山形県立新庄養護学校の義高互教諭は、今回、全く装いの異なるソフトを提示した。このソフトは、いわゆる疑似人格を備えたもので、学習者から発せられた言葉に、人間同士のコミュニケーション時とほぼ同様の反応を返してくれるというものである。どんな時に、どのような言葉を返すのが適切かを自分で判断する能力を、シミュレーションによって学習する目的を持つ。

これまで自作してきた内容の集大成の意味も兼ねて、「人間を支えるパートナー」としてのソフトを完成させた訳だが、実は、更なる可能性とソフトの果たす役割が見えてきたということである。

教育工学社「教育とコンピュータ」
でのアプリ受賞記事
専門誌のCDで配布されました↓

の 使 い 方

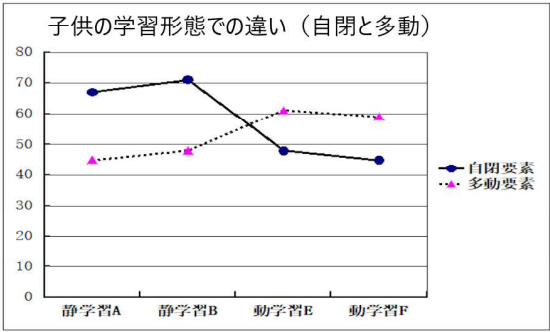
「あとむくん」

IMAJの「atomukun」フォルダに収録されています。

NEW 2003 2月号

CD-ROM

画面のコンピュータが反応を示したり、「気分が悪い」といった言葉には最初の言葉を返したり、通常の場面



自閉要素... 静学習 > 動学習 動学習はストレスに
多動要素... 静学習 < 動学習 静学習はストレスに



子供たちが課題を抱えて、教室でうまくいかない状況がある場合。

そのうちの原因が人間関係・人との関わり、である事があります。

この課題を学習や指導で課題解決しようという試みは、古くから行われています。私も今まで数々の試行錯誤をしてきました。

そのうちの一つがソーシャルスキルトレーニングです。対面、ペープサート、アプリなど試してみました。ソーシャルスキルトレーニングの AI アプリ開発もその一つです。AI で音声のやり取りで学習できるものです。その AI アプリは全国で賞を受賞しました。受賞アプリが効果がないとしたら大変です。合わせて SS トレーニングの効果を本気で検証しました。しかし、結論を言います。SS トレーニングは AI アプリも含めて学習効果を証明することができなかったのです。私の AI アプリの出来や指導がよくなかったという原因もあるかもしれません。他のトレーニングでも体感的に効果がある、という話があります。ですが、効果を具体的に検証して、データなどで効果を実証できたものは見つけれませんでした。

トレーニングが効果を上げられない原因を追究しました。SS トレーニングは、こんな時はこうするというパターンマッチングであるものが多いです。実際の場面で効果を発揮できなかった原因の一つは、単純なパターンで当てはまらない場面が多いことでした。そしてもう一つは、わかっているが、やりたくなかった。という結果だったのです。例えば、朝あったら挨拶をする、その事は知っている、でも言う勇気がなくてできない、というケースがありました。迷惑を掛けたら謝るといっているのはわかっている。でも素直に謝れなかった。というようにです。不登校の子どもに、朝起きたら学校に登校する、と指導するのと同じかもしれません。小学校や特支学級では別の結果が考えられますが、中学校通常学級在籍の子供では、わからない、ではなく、わかるがやれないという状態でした。

わかっているのにやりたくない、という場合の指導は中学校の個別指導では難しかった、というのが実感でした。ソーシャルスキルトレーニングで素晴らしい個別指導ができて、指導者の主観の効果でなく、実際の効果を実証できる方がいるとしたら教えていただきたいと思います。

わかっているのにやりたくない、という場合の指導は中学校の個別指導では難しかった、というのが実感でした。ソーシャルスキルトレーニングで素晴らしい個別指導ができて、指導者の主観の効果でなく、実際の効果を実証できる方がいるとしたら教えていただきたいと思います。